

製品安全データシート

日本: JIS Z7250:2005準拠

番号: JP- 235-d -JP
日付: 2014年3月31日.
ページ: 1/4



Océ TCS400 Magenta ink

1. 製品および会社情報

製品名 : Océ TCS400 Magenta ink
製品コード番号 : 1060015093 / 29953830 / 7230851
製品コード (Canon) : 7513B008AA / 7513B004AA / 7514B003AA
梱包 : Contents 400ml (インクタンク)
特定用途 : インクジェットプリンタ用インク。
その他の用途は推奨されていません。
製造業者 : Océ-Technologies B.V.
St. Urbanusweg 43, P.O. box 101, 5900 MA Venlo, the Netherlands
販売業者 : キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社
住所 : 〒108-8011 東京都港区港南2-13-29 キヤノン港南ビル
電話番号 : 03-6719-9616
緊急連絡先 : (財)日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)
中毒110番 大阪 072-727-2499 (24時間) つば 029-852-9999 (9時~21時)

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類されていない。
分類されていない他の危険有害性 : 通常の衛生状態が遵守されていれば、当製品が通常使用下で健康被害を引き起こすことはありません。

健康への影響と症状の詳細については、第4または11を参照してください。

3. 組成及び成分情報

単一物質/混合物 : 混合物

製品 / 成分の名称	識別子	%	分類		種類
			67/548/EEC	CLP 1272/2008/EC	
水	EC: 231-791-2 CAS: 7732-18-5	70 - 85	分類されていない。	分類されていない。	-
水溶性有機溶媒	企業秘密であり非公開, NJTSRN 80100451-5013	7 - 13	分類されていない。	分類されていない。	-
水溶性有機溶媒	企業秘密であり非公開, NJTSRN 80100451-5045	5 - 10	Xn; R21/22	Acute Tox. 4, H302 Acute Tox. 4, H312	[1]
水酸化アルカン	企業秘密であり非公開, NJTSRN 80100451-5004	1 - 5	Xi; R36/37/38	Skin Irrit. 2, H315 Eye Irrit. 2, H319 STOT SE 3, H335 (気道刺激性)	[1]
水溶性染料, 赤。	企業秘密であり非公開, NJTSRN 80100451-5005	1 - 5	分類されていない。	分類されていない。	-

種類

- [1] 健康または環境危険有害性があると分類される物質
[2] 作業所暴露限界がある物質
[3] 物質は規則 (EU) No. 1907/2006、附属書 XIII による PBT に関する基準を満たしている
[4] 物質は規則 (EU) No. 1907/2006、附属書 XIII による vPvB に関する基準を満たしている
[5] 同等の懸念がある物質

危険有害成分 日本

成分名	含有量(重量%)	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)	労働安全衛生法
水溶性有機溶媒	5 - 10	企業秘密であり非公開, NJTSRN 80100451-5045	データなし。	データなし。
水酸化アルカン	1 - 5	企業秘密であり非公開, NJTSRN 80100451-5004	データなし。	データなし。

暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

上記で表明されているRフレーズまたはHステートメントの全文に関してはセクション16を参照。

4. 応急措置

応急処置の解説

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させる。
飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはならない。数杯の水あるいは牛乳を飲ませる。
皮膚に付着した場合 : 皮膚を石鹸と水で洗浄するか、または認定された皮膚洗浄剤を使用する。溶剤またはシンナーを使用してはならない。
目に入った場合 : コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。直ちに眼瞼を広げながら流水で15分間以上洗浄する。直ちに医師の診断を受ける。

起こりうる急性毒性

吸入した場合 : 空気中のインクの微粒子が気管を刺激することがありますが、慢性的な症状は報告されていません。
飲み込んだ場合 : 急性経口毒性試験 (OECD TG 401) の結果 急性経口毒性はないと判断された。
皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。



Océ TCS400 Magenta ink

目に入った場合	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
過剰暴露の徴候/症状	
吸入した場合	: 特にデータは無い。
飲み込んだ場合	: 特にデータは無い。
皮膚	: 特にデータは無い。
眼	: 特にデータは無い。
特定の治療法	: 疑わしい症状が認められる場合や症状が長引く場合は、必ず医師の診察を受ける。この安全データシートに沿って取る。

健康への影響と症状の詳細については、セクション11を参照。

5. 火災時の措置

消火剤	
適切	: 推奨: アルコール耐性泡沫、二酸化炭素、粉末、霧状水。
使ってはならない消火剤	: ウォータージェットを使用してはならない。
有害な熱分解生成物	: 分解生成物には以下の物質が含まれることがある: 一酸化炭素、二酸化炭素、煙、窒素酸化物。
消防士用の特別な防具と予防措置	: 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
消火を行う者の保護	: 消防士は適切な防護具と陽圧モードで動作する全面マスクを備えた独立式呼吸装置(SCBA)を着用しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 蒸気や噴霧の吸入を避ける。セクション7および8に記載された保護手段を参照。
環境に対する注意事項	: 漏出した物質や、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
漏出	: 少量の場合、紙タオルなどで拭き取り空容器に回収する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
適切な個人保護装置に関する情報についてはセクション8を参照。	

7. 取扱い及び保管上の注意

保護措置	: 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。換気が十分な場所でのみ使用する。
保管	: 換気の良い乾燥した冷所で保管する。凍結を避ける。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。
注意事項(特定用途)	: 製造者からの情報をご参照下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

曝露限界	: 確認済み曝露限界値はない。
職域での曝露の管理	: 特別な換気設備は必要ない。全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。
呼吸器の保護具	: この商品の通常の用途には必要ありません。
手の保護具	: 長時間または連続して取り扱う場合は、次の種類の手袋を着用する: ネオプレン あるいは ニトリル手袋。汚染した手袋は再使用せず廃棄すること。
目の保護具	: 側方遮蔽のある保護眼鏡。
皮膚の保護	: この商品の通常の用途には必要ありません。
環境暴露管理	: 下水道、地下室あるいは閉鎖区域に流れ込まないようにする。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	: 液体。
色	: 赤。
臭い	: かすかな臭気。
pH	: 7 から 8.5
沸点	: 102°C (215.6°F)
引火点	: 密閉式: >200°C (>392°F)
蒸発速度	: 2.5 (酢酸ブチル = 1)
引火性	: 未確定。
爆発限界	: 該当せず。
蒸気圧	: データなし。
蒸気密度	: データなし。
密度	: データなし。
比重	: 1.02
溶解度	: 本品は水に対する溶解性がより高い。



Océ TCS400 Magenta ink

オクタノール/水分係数	: データなし。
分解温度	: データなし。
粘度	: データなし。
揮発性	: 78.4% (w/w)

10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険な反応の可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 認知済みのものは無し。
混触危険物質	: 次の物質と反応性あるいは危険配合性: 酸化性物質。
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 : 通常の取り扱いでは急性有害性は知られていません。

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量
Océ TCS400 Magenta ink	LD50 経口	ラット	>5000 mg/kg

慢性毒性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

刺激性/腐食性

皮膚	: 皮膚に対し無刺激性。(OECD 404, ウサギ)
眼	: 眼に対する刺激性なし。(OECD405, ウサギ)
呼吸器系	: 空気中のインクの微粒子が気管を刺激することがありますが、慢性的な症状は報告されていません。

感作 皮膚 : 皮膚感作物質に分類されていない。(OECD406, モルモット)

変異原性 : エームス試験では突然変異誘発性ではない。

発がん性 : IARC, NTP, OSHA, EU および ACGIHのいずれにおいても、分類あるいはリストに記載されていない。

生殖毒性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇形性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

トキシコキネティクス

可能性のある暴露経路についての情報 : 予想される侵入経路: 経口、皮膚。

12. 環境影響情報

生態毒性 : この製品に対する実験的なデータはありません。

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間	テスト
Océ TCS400 Magenta ink	EC50 >1000 mg/l	ミジンコ類	48 時間	-

残留性および分解性 : 未確定。

生物濃縮の可能性 : 未確定。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 本製品を廃棄しても有害物を生成しない。
排水管または水路に流れ込まないようにすること。汚染した土壌を含む漏出残留物の取扱いおよび廃棄は、国、都道府県、地方自治体の法令に従う。

14. 輸送上の注意

本製品は、ADR/RID、IMDG、ICAO/IATAでは輸送を規制されていない。

15. 適用法令

日本

労働安全衛生法

化審法

非該当。

毒物及び劇物取締法

劇物 : 非該当。

毒物 : 非該当。



Océ TCS400 Magenta ink

特定毒物 : 非該当。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

非該当。

日本インベントリー(ENCS)(既存及び新規化学物質) : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

16. その他の情報

改訂コメント : 一部のセクションに若干の変更:1, 16.

前作成日 : 3-2014

バージョン : 4

分類[CLP/GHS]の全文 : Acute Tox. 4, H302 急性毒性(経口) - 区分 4
Acute Tox. 4, H312 急性毒性(皮膚) - 区分 4
Eye Irrit. 2, H319 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 - 区分 2
Skin Irrit. 2, H315 皮膚腐食性/刺激性 - 区分 2
STOT SE 3, H335 特定標的臓器毒性(単回暴露) - 区分 3

省略されたHステートメントの全文 : H302 飲み込むと有害。
H312 皮膚に接触すると有害。
H315 皮膚刺激。
H319 強い眼刺激。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。

分類[DSD/DPD]の全文 : Xn - 吸入すると有害
Xi - 刺激物

省略されたRフレーズの全文 : R21/22- 皮膚と接触および飲み込むと有害性。
R36/37/38- 眼、呼吸器系および皮膚を刺激する。

省略形および頭字語 : ADR = 欧州危険物国際道路輸送協約
CLP = 分類、表示、包装に関する規則[規則(EC)No. 1272/2008]
DPD = 危険調剤指令[1999/45/EC]
DSD = 危険物指令[67/548/EEC]
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA = 国際航空輸送協会
ICAO = 国際民間航空機関
IMDG = 国際海上危険物
REACH = 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則[規則(EC)No. 1907/2006]
RID = 欧州危険物国際鉄道輸送規則
PBT = 難分解性、生体蓄積性、毒性
vPvB = 高残留性・高生体蓄積性

EWC = 欧州廃棄物カタログ(EWC)

JSOH = Japan Society for Occupational Health (日本産業衛生学会)

STEL = 短期暴露限界

TLV = きい値限界値

TWA = 時間加重平均

この安全データシートは細心の注意を持って、本製品を安全に取り扱うための手軽なガイドになるようにまとめられています。新情報の入手に伴い、安全シートは変更される可能性があります。必要に応じて 安全措置を行う際に、この情報の適応性を決定する義務および安全データシートが最新版であることを確認する義務はユーザーにあります。該当する法律下で責任の制限が認められている範囲において、この情報に存在し得る不正確さに対する責任は弊社では一切負うものではありません。

これは英語版文書を機械翻訳しています。内容に疑義が生じた場合、英語版の文書の内容が優先されます。

Copyright © 2004 Océ